



平成30年6月1日

とべだより

6月号

横浜市立戸部小学校

「えがお会議」

学校長 柳澤 潤



本校校舎の外周に沿って、アジサイが百株以上あります。昨年度のうちに用務員さんに剪定をされた一株一株は、今はどの株も、勢いよくみずみずしい葉を茂らせ、早いものは、赤や紫の花を咲かせています。アジサイは、同じ種類でも、土壌が酸性かアルカリ性かによって、花の色が変わってしまうそうです。環境によって色が決まってしまうことは、何か、子育てや教育にも通じるものがあります。

さて、今年度も、全学年の代表者が集まって、「えがお会議」が行われました。5月18日の第一回会議には、1年生以上の全クラスから代表が2名ずつ、えがお委員として参加しました。進行は、えがおスター委員会（人権委員会）が務めます。会議のねらいは、「学校のいじめを防ぎ、笑顔がたくさん増やすためにできることを考えよう」です。各クラスでは、「①いじめを絶対に防ぐために、しないようにしたいこと ②笑顔を増やすために積極的にしたいこと」について、話し合ってきています。各クラスで話し合ってきたことを発表した後、学年ごとに集まり、えがおスター委員と一緒に、学年の「えがお目標」を決めていきます。この話し合いには担任も加わり、保護者の参観もありました。学年に応じて、「しないこと、すること」の目標が練り上げられていきます。参加したえがお委員の一人ひとり、みんなとても真剣に、遊びの場面や生活の場面を思い起こして、できることを考えていました。「いじめ」に向き合い、笑顔を増やすことを考えるよい機会になりました。

わたしは、「いじめ」について、立ち止まってみんなで考えたことの素晴らしさを子どもたちに伝えました。そして、学校運営協議会で、毎回「戸部小学校にいじめはありませんか」と質問をされるAさんのことを話しました。Aさんは、「いじめられる側が悪いということは、少しもない。いじめは、いじめられる側が100パーセント悪い」との言葉を大事にされていました。どの親も、先生も、まちの人もみんなが、「いじめ」のない、笑顔いっぱいの毎日を望んでいることを話しました。

「いじめ」は、いじめ防止対策推進法の施行に伴い、平成25年度から以下のとおり定義されています。
※「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。」※

したがって、本校でも「強いもの弱いものも関係なく、一回きりでも、苦痛を感じていること」であれば、それもいじめと認知します。「いじめの芽」や「いじめの兆候」ととらえたものも、定義に従い、いじめと認知して対応するようにしています。

子どもたちは、「えがお会議」を経て、一人ひとりが「えがお宣言」を用紙に書き、掲示しました。私は朝会で、「いじめのない、笑顔いっぱいの戸部小学校にします。みんなで力を合わせましょう」と、宣言をしました。各家庭でも、笑顔をいっぱいにするチャレンジが、きっとできると思います。

4年生は大池、5年生は子浦、6年生は日光・赤城と、宿泊体験学習が続きます。どの子にとっても満足のいく充実した、楽しい活動になるよう工夫していきます。

今月もどうぞよろしくお願ひします。